

5年生 西柴米研Q所 実食



家庭科の調理実習の時間を使い、自分たちが育てた米を炊きました。育てた米は一人ひとりが食べるには少ない量でしたが、自分たちが育てた米を食べることをとても楽しみにしていたようでした。

味噌汁は、出汁を入れたものと入れていないものを飲み比べることで、出汁の大切さを感じたようです。調理実習や米を育てる活動を通して、食に対する感謝の気持ちが大きくなった子もいました。



各クラスで米を実食したときに「美味しかった。」という声が聞こえてきました。この活動を通して農家の方々の苦労や大変さ、努力などを感じた子が多くいたようです。